

2019年5月16日

## ロールをまるごと全長全幅検査できる『複屈折マッピング計測装置 KAMAKIRI』を 西日本最大のフィルム産業展「第7回 関西高機能フィルム展」に出展

株式会社 フォトロン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 瀧水 隆）は、2019年5月22日（水）～24日（金）の3日間、インテックス大阪で開催される「第7回 関西高機能フィルム展」に出展します。



ブースイメージ【2号館 No.9-44】



KAMAKIRI MEM-LS

KAMAKIRI  
複屈折計測モジュール

### 出展概要

#### フィルムの開発から生産、加工での 具体的な導入事例やアプリケーションを紹介

フォトロンブースではインライン／オフライン複屈折マッピング計測装置『KAMAKIRI』シリーズや『フィルム表面温度分布評価システム』を出展し、フィルムの開発から生産、加工での具体的な導入事例やアプリケーションをご紹介します。

また、展示会期間中にサンプル（A4サイズまで）をお持ち込みいただければ、その場で無料の評価を行い、データもお渡しいたします。

《これまでの測定事例》

位相差フィルム、PETフィルム、レンズ、ガラス製品、半導体ウェハ、自動車用透明部品

出展詳細ページ：<https://www.photron.co.jp/event-seminar/20190426.html>

## 出展製品

### インライン/オフライン複屈折マッピング計測装置

#### 『KAMAKIRI』シリーズ

- ロールの全長全幅保証に向けた最新インライン検査機を紹介
- 抜き取り検査時間を大幅短縮でき、官能試験を機械化できる卓上型検査機を紹介

#### 実施事例

##### KAMAKIRI MEM-LS

- ・光学歪の微細な変化を確認
- ・位相差の変化量で不良判定が可能



巻取り機に合わせたフレームを特注製作可能です

巻取り機

【製品サイト】 <https://www.photron.co.jp/products/polarizing-cam/kamakiri/>

### 『フィルム表面温度分布評価システム』

- フィルム種に適した光学系による、フィルムだけの表面温度分布評価システムを紹介
- ダイ出口の温度ムラ、チラーロール後のフィルムの温度ムラを可視化、定量化

## 開催概要

1. 名 称：第7回 関西高機能フィルム展
2. 開催期間：2019年5月22日（水）～ 24日（金）10:00～18:00（※最終日は17:00まで）
3. 会 場：インテックス大阪（アクセス：<http://www.intex-osaka.com/jp/access/>）
4. 主 催：リード エグジビション ジャパン株式会社

#### 【 株式会社フォトロンについて 】

本 社： 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング21階  
 代 表 者： 代表取締役社長 瀧水 隆  
 創 業： 1968年7月10日  
 資 本 金： 1億円  
 事業内容： 民生用および産業用電子応用システム（ハイスピードカメラ・画像処理システム、CAD関連ソフトウェア、放送用映像機器、その他）の開発、製造、販売、輸出入  
 U R L： <https://www.photron.co.jp/>

本リリース掲載の会社、商品、システム等の名称は、各社の商標または登録商標です。

【 お問い合わせ窓口 】 株式会社フォトロン システムソリューション事業本部  
 電話： 03-3518-6271 FAX： 03-3518-6279 電子メール：[image@photron.co.jp](mailto:image@photron.co.jp)